

第153回まち べん  
2026年1月21日

# ヒヤリハット体験マップの広がり ～地域・活用・活動の広がり～

公益財団法人豊田都市交通研究所  
主幹研究員 加藤秀樹

## 本日の流れ

- ◆ ヒヤリハット体験マップとは
- ◆ ヒヤリハット体験マップの「地域」の広がり
- ◆ ヒヤリハット体験マップの「活用」の広がり
- ◆ ヒヤリハット体験マップの「活動」の広がり
- ◆ まとめ

# ヒヤリハット体験マップとは

研究所では、ヒヤリハット体験マップの作成・公表を通じて、市民のヒヤリハット体験を大量に集めて可視化し、子どもたちの交通安全啓発・教育、道路環境の改善に活用する取り組みを推進！

## ①調査（ヒヤリハット体験の収集）

- ・市内全小学校・事業所等で調査を実施
- ・スマホ、パソコン等でヒヤリ体験を入力

QRコードで  
簡単に、  
WEB調査システム  
へアクセス



児童・保護者/従業者等が入力

## ②データ蓄積・分析

- ・死亡事故リスクの算出
- ・対策地点の優先順位付け



死亡事故リスク評価と優先度

## ③活用（アウトプット）

- ・ヒヤリハット体験マップとして一般公開し、子供や地域の交通安全啓発等に活用
- ・優先順位に基づく交通安全対策の実施



ヒヤリハット体験マップ

ヒヤリハット体験の入力およびアウトプットの活用を通じて、人への啓発（教育）と道路環境改善等に役立てるシステム

# ポイント① 入力のWeb化

自動車を運転していた時

事故になりそうになった相手はなんですか(1つ選ぶ)

☐ 歩行者(人)

☐ 自てん車

☐ バイク

☒ 自動車

☐ 人や車両以外のもの  
(電柱、ガードレール、動物など)

☐ 相手はいない  
(路外への落下など)

☐ その他

どんな場所でしたか(1つ選ぶ)

☐ 交差点の中  
(T字路を含む)

☐ 交差点の近く  
(交差点から約30メートル以内)

☐ カーブ・曲がった道路  
(交差点以外)

☒ 直線・その他の道路  
(トンネル・橋を含む)

☐ 踏切・道路以外  
(広場、駐車場、私道など)

どんな状況でしたか(1つ選ぶ)

☐ 正面衝突や追突しそう  
(されそう)だった状況

☐ 自分や相手が  
右折していた状況

☐ 左折巻き込みしそう  
(されそう)だった状況

☐ それ以外の状況

戻る

自動車を運転していた時

おつかりそうになった時の状況を地図上で  
表してください。  
以下の例を参考に、アイコンを地図上にドラ  
ッグしてください。

例1 例2 例3

001 002 003 004 005 006 007 008 009 010 011 012 013 014 015 016 017 018 019 020 021 022 023 024 025 026 027 028 029 030 031 032 033 034 035 036 037 038 039 040 041 042 043 044 045 046 047 048 049 050 051 052 053 054 055 056 057 058 059 060 061 062 063 064 065 066 067 068 069 070 071 072 073 074 075 076 077 078 079 080 081 082 083 084 085 086 087 088 089 090 091 092 093 094 095 096 097 098 099 100 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114 115 116 117 118 119 120 121 122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167 168 169 170 171 172 173 174 175 176 177 178 179 180 181 182 183 184 185 186 187 188 189 190 191 192 193 194 195 196 197 198 199 200 201 202 203 204 205 206 207 208 209 210 211 212 213 214 215 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 226 227 228 229 230 231 232 233 234 235 236 237 238 239 240 241 242 243 244 245 246 247 248 249 250 251 252 253 254 255 256 257 258 259 260 261 262 263 264 265 266 267 268 269 270 271 272 273 274 275 276 277 278 279 280 281 282 283 284 285 286 287 288 289 290 291 292 293 294 295 296 297 298 299 300 301 302 303 304 305 306 307 308 309 310 311 312 313 314 315 316 317 318 319 320 321 322 323 324 325 326 327 328 329 330 331 332 333 334 335 336 337 338 339 340 341 342 343 344 345 346 347 348 349 350 351 352 353 354 355 356 357 358 359 360 361 362 363 364 365 366 367 368 369 370 371 372 373 374 375 376 377 378 379 380 381 382 383 384 385 386 387 388 389 390 391 392 393 394 395 396 397 398 399 400 401 402 403 404 405 406 407 408 409 410 411 412 413 414 415 416 417 418 419 420 421 422 423 424 425 426 427 428 429 430 431 432 433 434 435 436 437 438 439 440 441 442 443 444 445 446 447 448 449 450 451 452 453 454 455 456 457 458 459 460 461 462 463 464 465 466 467 468 469 470 471 472 473 474 475 476 477 478 479 480 481 482 483 484 485 486 487 488 489 490 491 492 493 494 495 496 497 498 499 500 501 502 503 504 505 506 507 508 509 510 511 512 513 514 515 516 517 518 519 520 521 522 523 524 525 526 527 528 529 530 531 532 533 534 535 536 537 538 539 540 541 542 543 544 545 546 547 548 549 550 551 552 553 554 555 556 557 558 559 560 561 562 563 564 565 566 567 568 569 570 571 572 573 574 575 576 577 578 579 580 581 582 583 584 585 586 587 588 589 590 591 592 593 594 595 596 597 598 599 600 601 602 603 604 605 606 607 608 609 610 611 612 613 614 615 616 617 618 619 620 621 622 623 624 625 626 627 628 629 630 631 632 633 634 635 636 637 638 639 640 641 642 643 644 645 646 647 648 649 650 651 652 653 654 655 656 657 658 659 660 661 662 663 664 665 666 667 668 669 670 671 672 673 674 675 676 677 678 679 680 681 682 683 684 685 686 687 688 689 690 691 692 693 694 695 696 697 698 699 700 701 702 703 704 705 706 707 708 709 710 711 712 713 714 715 716 717 718 719 720 721 722 723 724 725 726 727 728 729 730 731 732 733 734 735 736 737 738 739 740 741 742 743 744 745 746 747 748 749 750 751 752 753 754 755 756 757 758 759 760 761 762 763 764 765 766 767 768 769 770 771 772 773 774 775 776 777 778 779 780 781 782 783 784 785 786 787 788 789 790 791 792 793 794 795 796 797 798 799 800 801 802 803 804 805 806 807 808 809 810 811 812 813 814 815 816 817 818 819 820 821 822 823 824 825 826 827 828 829 830 831 832 833 834 835 836 837 838 839 840 841 842 843 844 845 846 847 848 849 850 851 852 853 854 855 856 857 858 859 860 861 862 863 864 865 866 867 868 869 870 871 872 873 874 875 876 877 878 879 880 881 882 883 884 885 886 887 888 889 890 891 892 893 894 895 896 897 898 899 900 901 902 903 904 905 906 907 908 909 910 911 912 913 914 915 916 917 918 919 920 921 922 923 924 925 926 927 928 929 930 931 932 933 934 935 936 937 938 939 940 941 942 943 944 945 946 947 948 949 950 951 952 953 954 955 956 957 958 959 960 961 962 963 964 965 966 967 968 969 970 971 972 973 974 975 976 977 978 979 980 981 982 983 984 985 986 987 988 989 990 991 992 993 994 995 996 997 998 999 1000



(背景マップ)©2022, Google2022、画像©2022, Maxter Technologies

## <Web化のメリット・本システムの特徴>

- 紙調査に比べて大規模調査に向いている。調査結果が電子データとして得られる。
- 状況の詳細を図として取得できる：自分や相手のアイコン、進行方向のアイコンを航空写真に配置・回転。

## ポイント② (出力)状況の詳細図・危険度・Street View連携



### <本システムの特徴>

- 状況の詳細を図：図を見ると、どんな状況で危険だったのかよくわかる。
- 危険度を色分け表示：たくさんあるヒヤリハット体験のなかで優先順位が示される。
- すぐに、Google Street Viewで、その場所の状況が確認できる。



# 「豊田市ヒヤリハット体験マップ2022」の公表と対策の実施

## ◆ 2022年11月25日（金曜日） 市長記者会見



（出展）豊田市ホームページ [https://www.city.toyota.aichi.jp/mayors\\_office/kaiken/1051869.html](https://www.city.toyota.aichi.jp/mayors_office/kaiken/1051869.html)

## ◆ マップへのアクセス

・豊田市ヒヤリハット体験マップ2022



・URLアドレス

<https://2022.hiyari-result.com/>

## ◆ とよたNow

・特集「ヒヤリハット体験マップ2022」  
放送日時：2022年12/19 18:30-



・URLアドレス

[https://stream.himawari.co.jp/chroot/vod/toyotanow/tokusyu\\_221219.mp4?\\_=1](https://stream.himawari.co.jp/chroot/vod/toyotanow/tokusyu_221219.mp4?_=1)

## ◆ 交通安全対策の実施例

2019年調査・分析結果に基づく交通事故対策実施例（宝来町4丁目）

【対策実施前】



・（事故原因）壁による死角、確認不足

【対策実施後】



・カラー舗装化、びたっとわたるくんの設置

# ヒヤリハット体験マップの取り組みの経緯

## ＜交通事故の予防対策の必要性を認識：2011～2013年度＞

- 2011年度「豊田市交通事故特性調査分析業務」で、「事後対策」ではなくヒヤリ体験等に基づく「事前対策」箇所の選定手法が求められていたが、当時では対応できず。
- 2012年度から、死亡事故の予防対策研究に着手。
- ヒヤリハット体験の収集に苦戦。

## ＜大規模調査の実施と予防対策の優先順位づけ手法の提案：2014年度～2020年度＞

- 2014年の夏休みの宿題として、豊田市内の全小学4年生とその保護者（約8,000人）を対象とした大規模調査を実施（1回目）。死亡事故リスクに基づく優先順位づけ手法を提案。
- ※ WEB調査ではなく、紙の調査票を配布。
- 2019年、再度、大規模調査（2回目）を実施。また、優先順位付け手法の検証。

## ＜豊田市「ジコゼロ大作戦」との連携：2021年度～＞ ⇐⇐ひまわりテレビ特集動画ご参照

- 調査のWEB化。
- 豊田市で、WEB版の大規模調査（3回目）を実施。

## ＜タデシナ会議「新しい児童への啓発分科会」との連携：2023年度～＞

- 全国の自治体へ展開！

## ＜土木計画学研究委員会に「ヒヤリハット情報を活用した歩行者・自転車の交通安全管理の実践に関する研究小委員会（略称：ヒヤリハット研究小委員会）」を設置：2025年11月～＞

【目標】ヒヤリハット情報から客観的かつ定量的な指標を得て実際の交通安全管理に結びつける

- さらに、全国の自治体へ展開！ 様々なヒヤリハットの包括、収集・分析・活用の高度化

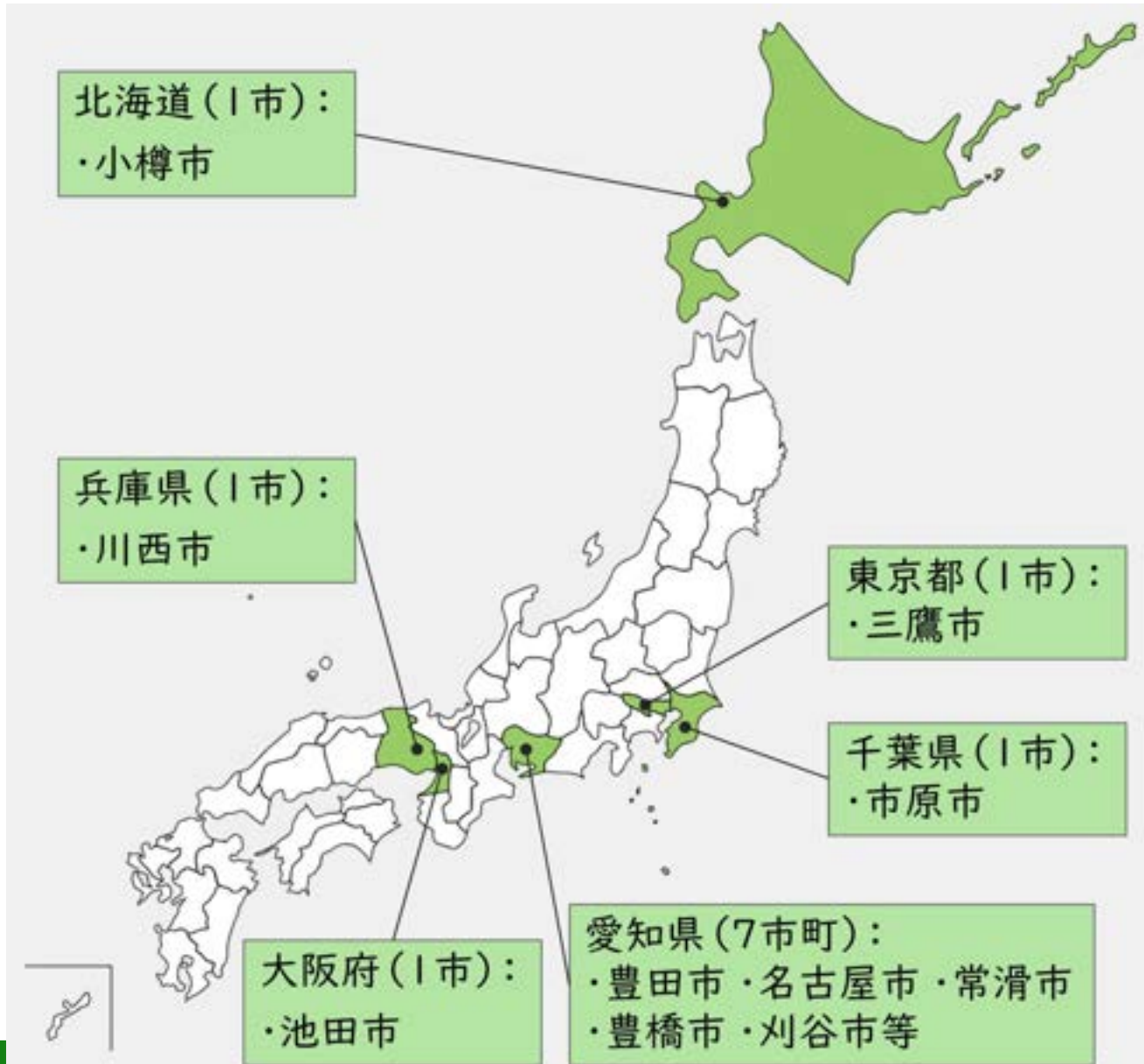
本日のメイン

## 本日の流れ

- ◆ ヒヤリハット体験マップとは
- ◆ ヒヤリハット体験マップの「地域」の広がり
- ◆ ヒヤリハット体験マップの「活用」の広がり
- ◆ ヒヤリハット体験マップの「活動」の広がり
- ◆ まとめ



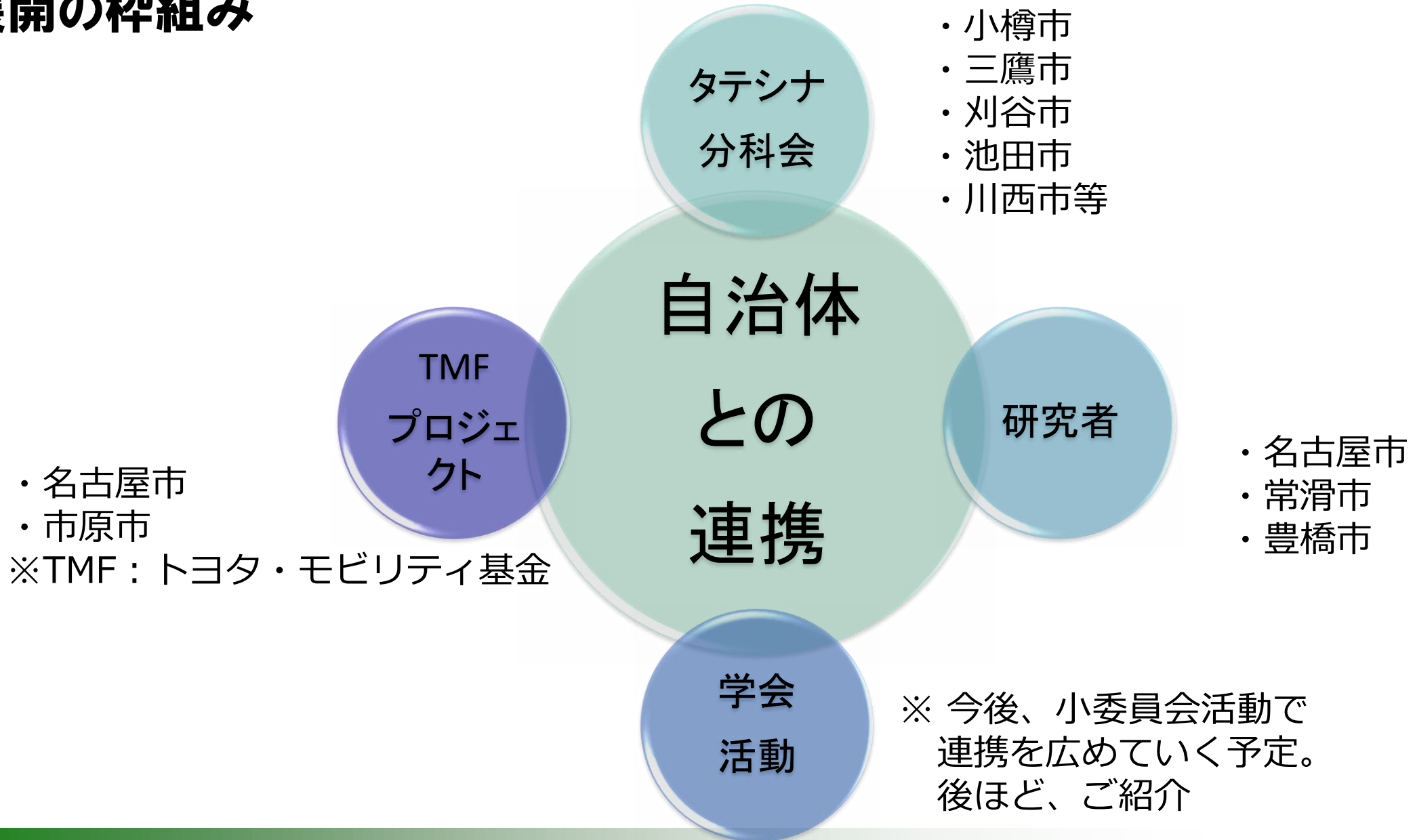
# ヒヤリハット体験マップの全国展開状況



2025年度までに、  
12自治体で展開

自治体名	ヒヤリハット体験マップの公開お知らせ(URL)
豊田市	<a href="https://www.city.toyota.aichi.jp/kurashi/koutsu/anzen/1052066.html">https://www.city.toyota.aichi.jp/kurashi/koutsu/anzen/1052066.html</a>
市原市	<a href="https://www.city.ichihara.chiba.jp/article?articleId=6622158377b1bf4205140f59">https://www.city.ichihara.chiba.jp/article?articleId=6622158377b1bf4205140f59</a>
刈谷市	<a href="https://www.city.kariya.lg.jp/kurashi/kotsu/kotsuanzen/1020812.html">https://www.city.kariya.lg.jp/kurashi/kotsu/kotsuanzen/1020812.html</a>
池田市	<a href="https://www.city.ikeda.osaka.jp/soshiki/kyoikuiinkai/gakkokyoikusuisin/chosa/19010.html">https://www.city.ikeda.osaka.jp/soshiki/kyoikuiinkai/gakkokyoikusuisin/chosa/19010.html</a>
川西市	<a href="https://www.city.kawanishi.hyogo.jp/kurashi/1017448/1000803/1021100.html">https://www.city.kawanishi.hyogo.jp/kurashi/1017448/1000803/1021100.html</a>
三鷹市	<a href="https://www.city.mitaka.lg.jp/c_service/115/115400.html">https://www.city.mitaka.lg.jp/c_service/115/115400.html</a>

## 展開の枠組み



## 「タテナ会議」とは

- 毎年、交通安全に祈りを捧げる蓼科山聖光寺夏季大祭において自動車や関係する業界のトップ役員が一堂に会すことを受け、2019年に、交通事故死傷者ゼロの実現に向けて思いを共有し、協働するための場として初開催。
- 2023年7月の第2回会議開催時には、交通安全への想いと交通事故死傷者ゼロに向けた取り組みをさらに実効性のある活動にしていけるための「分科会」を発足。

- 「新しい児童への啓発分科会」の主管をTTRIが担当
- 第3回タテナ会議(2025年7月18日)では、分科会活動に関する展示ブースを設け、業界トップと情報交換



出典: トヨタ・モビリティ基金Webサイト ([https://toyotamobilityfoundation.jp/activity/traffic\\_safety/tateshina\\_meeting.html](https://toyotamobilityfoundation.jp/activity/traffic_safety/tateshina_meeting.html))



# タテナ会議 分科会の構成と活動趣旨

## 分科会

## 参画企業

## 活動の趣旨

データ活用・  
危険地点見える化



各種データ(参画企業・組織が保有/住民協力によるもの等)の融合で、危険地点の推定精度を高め、地域でのより効果的な対策への活用を目指す。

高齢者安全運転支援



運転技能の維持・向上、自家用車に頼らない移動の仕組みづくりまで、地域の生活に寄り添いながら、高齢ドライバーによる交通死亡事故ゼロを目指す。

新しい児童への啓発



危険な実体験を伴うことなく、児童が危険を察知/回避する能力を養うことができる新しい啓発方法を開発・展開する(VRやAR・デジタルツイン活用等)。

自転車・二輪



車両と自転車の相互通信等を活用した自転車・二輪車の交通死亡事故ゼロに繋がる仕組みと、新たな啓発手法を、官民連携により構築する。

海外



交通事故死傷者が多いアジア地域に着目し、死傷者削減の抜本的な対策の検討、国内や海外における好事例の横展開も含む実践を進める。

## 各分科会の活動概要

データ活用 危険地点見える化	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 車両、スマホ、事故情報、インフラからのデータ、住民目線のヒヤリハット情報等の融合による、精度の高いリスク評価モデル構築</li> <li>➤ まずは年度内に、愛知県豊田市を事例に、データ融合による効果検証を予定</li> <li>➤ 福岡県宮若市において、地域との協業による住民参加型データ活用の実証実験を企画</li> </ul>
高齢者安全運転支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 取り組みテーマを以下のように設定 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 世代を問わず自身の運転を振り返るきっかけづくり</li> <li>・ 運転診断サービスの進化と利用しやすい仕組みづくり</li> <li>・ 自家用車に頼らない移動手段の提供/移動機会の創出</li> </ul> </li> <li>➤ 地域を選定し、各地域の特徴に応じた実証を展開（ドラレコデータによる安全運転指南）</li> </ul>
新しい児童への啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 児童・保護者視点での危険地点を共有し「見える化」するヒヤリハットマップを自治体へ展開</li> <li>➤ VRによる危険体験システム開発の推進</li> <li>➤ 児童の交通環境における挙動把握を目的とした、保護者・学校連携による実証を実施</li> </ul>
自転車・二輪	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ コネクティッド技術を活用した事故防止、自転車利用者への法等ルールへの理解、遵守意識の向上を目的とした実証を企画（インフラ協調型（ITS）/スマートフォン連携型）</li> <li>➤ 各技術の有効性検証や自転車に関するルールの周知を目的に、政府・自治体・外部団体等との連携強化しながら、人の行動変容を促す手法の提案・確立を目指す。</li> </ul>
海外	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 交通事故死傷者、特に二輪車事故が80%を占めるタイにて、地域の関係機関との連携を通じた取り組みを検討中</li> <li>➤ データ活用による事故状況把握や対策、啓発活動の推進</li> </ul>

連携



## 本日の流れ

- ◆ ヒヤリハット体験マップとは
- ◆ ヒヤリハット体験マップの「地域」の広がり
- ◆ ヒヤリハット体験マップの「活用」の広がり
- ◆ ヒヤリハット体験マップの「活動」の広がり
- ◆ まとめ

## 活用の広がり

- ◆ 各自治体における活用方法はさまざまですが、主に、市のホームページでの公開による市民向け啓発、小学校での交通安全授業、さらには交通安全施策の検討資料としての活用などが挙げられます。
- ◆ ここでは、次の3つの自治体の事例を紹介します。
  - 常滑市
  - 名古屋市
  - 三鷹市

## 常滑市の事例

- ◆ 常滑市では、令和6年度愛知県学校安全総合支援事業の一環として、令和5年に作成した常滑市ヒヤリハット体験マップ等を活用して、6年生が通学路での危険箇所、さらにはその危険要因を分析し、危険を回避する方法を下級生に対して安全指導を行いました。こうした取り組みにより、児童の当事者意識が高まり、保護者を含めた新たな視点の共有を進めるという先進的な取り組みが行われています。

<第1時>  
【ねらい】  
「常滑市ヒヤリハット体験マップ2023」を基に、危険箇所を見つける視点を持ち、安全を意識して行動することの大切さに気付くことができる



<第2時>  
【ねらい】  
「小鈴谷小ヒヤリハットマップ」を作成して気付いた地域の危険箇所について、保護者に知らせる資料を作成することができる





<第3時>  
【ねらい】  
保護者と「小鈴谷小ヒヤリハットマップ」を作成し、大人目線や運転手目線での危険箇所を知ること、今後の児童の安全意識を高める

9月21日(土)  
学校公開日  
2時間目



<第4時>  
【ねらい】  
地域の危険箇所について他学年や地域の方々に自分事として捉えてもらえるように伝えたい内容を考える

**【交通安全だより第2号】**



(出典) 令和6年度学校安全総合支援事業 安全に関する事業報告 常滑市  
<https://www.pref.aichi.jp/uploaded/attachment/553959.pdf>

## 名古屋市の事例

- ◆ 名古屋市では、大規模調査で得られたデータを用い、ヒヤリハット体験と交通事故を組み合わせで点数化し、潜在的に危険性の高い場所を抽出する分析を行い、対策地点の選定と対策内容の検討を行いました。死亡事故につながる可能性の高いエリアを定量的に評価し、順位付けに基づいて対策の実効性を比較・検討した点が特徴です。分析手法の精緻化が課題として残っていますが、施策への活用に直結する好事例といえます。
- ◆ 研究所は、委託研究として本事業を支援！



## 三鷹市の事例

- ◆ 三鷹市では、市立小学校の交通安全授業でヒヤリハット体験マップを活用し、通学路の危険個所を確認する取り組みが行われました。また、地域の通学路点検結果と組み合わせ、危険度の高い地点には優先順位を付けて注意喚起のステッカーを設置するなど、スピード感をもって、事故を未然に防ぐ総合的な施策の推進に活用されています。広報みたか(No.1798)にヒヤリハット体験マップの活用について取り上げられていますので、ご興味のある方は、ぜひご覧ください。
- ◆ 来年度も、ヒヤリハット体験マップを活用した交通安全教育について、連携していく予定です。



広報みたか  
令和7(2025)年  
1/2(No.1798)は、  
こちらのQRコードから  
アクセスできます!



三鷹市ヒヤリハット体験マップ  
はこちら



## 本日の流れ

- ◆ ヒヤリハット体験マップとは
- ◆ ヒヤリハット体験マップの「地域」の広がり
- ◆ ヒヤリハット体験マップの「活用」の広がり
- ◆ ヒヤリハット体験マップの「活動」の広がり
- ◆ まとめ

## 活動の広がり

- ◆ 2025年11月、学会（土木計画学研究委員会）内に「ヒヤリハット情報を活用した歩行者・自転車の交通安全管理の実践に関する研究小委員会」を立ち上げました。大学や研究機関の研究者、自治体を支援するコンサルタントなどと連携し、ヒヤリハット情報の収集・分析・活用方法の高度化を学術的観点から推進。
- ◆ 研究所のホームページ内にヒヤリハット体験マップ専用ページを設け、展開状況や活用事例を共有する仕組みを構築する予定です。公開は2026年3月を予定。



## ヒヤリハット研究小委員会(2025年11月～)

### ◆ 名称

- ヒヤリハット情報を活用した歩行者・自転車の交通安全管理の実践に関する研究小委員会

### ◆ 設立趣旨

- わが国の交通事故死者数は、これまでの様々な取組みにより過去最悪を記録した昭和45年から大幅に削減されてきたものの、依然として多くの方々が交通事故により命を落としている状況にある。
- 交通事故のさらなる削減に向けて、これまで検討材料として中心的な役割を担ってきた**交通事故データ**に加えて、**歩行者やドライバーの危険体験**、さらには、**自動車のセンサ・防犯カメラ等が感知した危険挙動**といった「**ヒヤリハット情報**」なども活用した交通安全管理の取組みが始まっている。特に、歩行者や自転車に関連する事故については、同じ地点で起こることが稀であるため、新たな情報源として、事故の背後にある多くのヒヤリハット情報を収集し活用することが期待されている。
- しかし、**ヒヤリハット情報から客観的かつ定量的な指標を得て実際の交通安全管理に結びつける方法論は未だ確立途上**であり、学術的な裏付けと実践知の統合が求められている。
- そこで、本小委員会では、広くメンバーを募集し、ヒヤリハット情報の活用に取り組む自治体・団体と連携を取りながら、歩行者・自転車の交通安全管理の実践に資するヒヤリハット情報の収集・分析・活用の方法について、学術的な観点から高度化を推進していく。これにより、**従来の事故データ分析を補完・発展させる新たな交通安全管理の枠組みの構築を目指す**。

### ◆ 研究内容

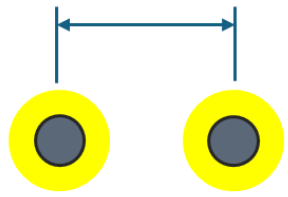
- ヒヤリハット情報の種類は限定せず、参画委員の研究分野や技術的関心に応じて、車両プローブデータ、監視カメラ映像の画像解析による情報などにも柔軟に対象を拡張していく。**当初の計画としては、自治体・団体等の協力を得て、Webアンケート形式で収集した歩行者やドライバー等の立場でヒトが体験したヒヤリハットデータを対象とする。**以下の二つの柱を中心に、具体的な研究テーマとして次のことが考えられる。

◆ 参加メンバー: 24名(2026.1.21時点) \* オブザーバー1名を参加含む

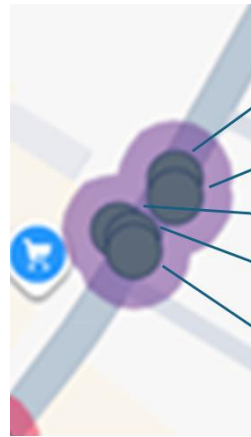
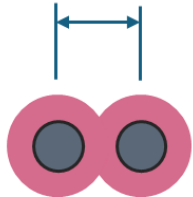
# ヒヤリハットHPを作成中

■マップの危険度とは？：よく聞かれるけど説明が難しいことをわかりやすく解説

20mより離れていると別の場所



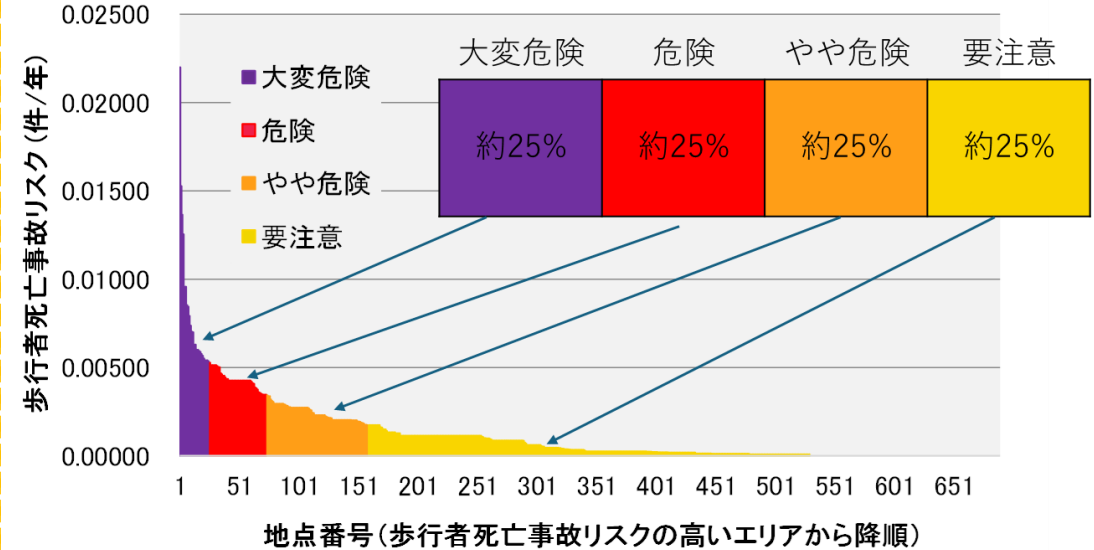
20m以内は同じ場所



ハザードA  
+  
ハザードB  
+  
ハザードC  
+  
ハザードD  
+  
ハザードE

ハザードの合計が  
この場所の  
死亡事故リスク

## 危険度の色分けの例



まずまず、ヒヤリハット体験  
(事故になりかけた出来事)  
が近くにいくつもある場合は、  
互いの距離が20メートル以  
内なら、まとめて同じ場所とし  
て扱います。

次に、「ヒヤリハット1件が、どのくらい  
の確率で死亡事故につながるか」をハ  
ザードと呼び、その値を使って死亡事  
故リスクを計算しています。つまり、そ  
の場所に含まれる歩行者のヒヤリハッ  
トを全部集めて、それぞれの危険度  
(ハザード)を足し合わせることで、最  
終的な「死亡事故リスク」を求めています。

ハザードの大きさは、過去の  
統計データをもとに推定して  
います。具体的には、ヒヤリ  
ハット件数と交通事故件数を  
比較し、道路の形や事故の  
種類ごとに「死亡事故につな  
がりやすさ」の違いを反映で  
きるようにしています。

最後に、マップ上ではリスク  
の高い順に「大変危険」「危  
険」「やや危険」「要注意」の4  
段階で色分けしています。そ  
れぞれの分類は、地域全体  
の死亡事故リスクの合計を4  
等分し、おおよそ25%ずつに  
分けて設定しています。

このように分けることで、「大  
変危険」とされる場所は数と  
しては少なくなりますが、リス  
クが集中して高い地点を見つ  
けやすくなります。つまり、交  
通安全の啓発や対策を、より  
優先して取り組むべき場所を  
選び出せるようになります。



## まとめ

- ◆ 豊田市からスタートした「ヒヤリハット体験マップ」は、多くの方々との連携によって、少しずつ全国に広がっています。
- ◆ 自治体の受け止めや活用方法も様々。好事例や既存事業に上手く組み込んだ活用などをHPで発信（活用の見える化）していきたい。
- ◆ 前回の豊田市調査（2022年）から4年が経過しました。特に、他市の好事例も参考に、2026年の調査の実施と活用に向けて、関係各所と連携しながら進めていきたい。

ご清聴ありがとうございました。